

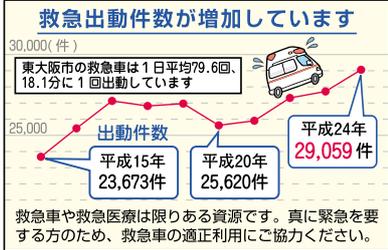


東大阪消防広報

2013年(平成25年)
97

「消すまでは 出ない行かない 離れない」(平成24年度全国統一防火標語)

発行所
東大阪市消防局
東大阪市稲葉
119
TEL072 966 9663
FAX072 966 9669



昨年、東大阪市内で起きた火災の件数は、151件で、本市発足以来、昭和62年の150件に次いで2番目に少ない件数となりました。しかし、救急件数は過去最多の2万9059件で、近年、急増傾向となつていきます(グラフ参照)。



救急要請が急増すると、救急車の到着が遅れる可能性があります。命に関わる傷病者に対し、一秒でも早く救急車が到着できるように、救急車の適正な利用に協力をお願いします。

2・3面に続く。



考

えよう!!

命を守る救急車の適正利用

放火をさせない！ 防止対策をしよう

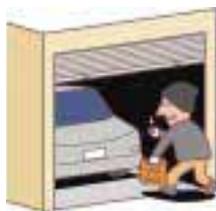
昨年は、火災発生件数151件のうち、57件が放火(疑い含む)が原因となっており、昼夜間を問わず放火による火災が発生しています。放火による火災は、不注意や油断などから起こるものではなく、意図的に火をつける犯罪行為であることから、防ぐ



地域ぐるみで放火防止に取り組みましょう

ことは難しいと思われがちです。一人ひとりが次のことに注意し、地域が一体となって放火による火災の発生を防止し「放火されない環境」をつくりましょう。

放火防止対策のポイント



空き家や倉庫、車庫などは、施錠をきっちりする
建物の周辺は外灯などで明るくする



建物周辺に燃えやすいものを放置しない
▷自転車や単車は、路上に放置せず自宅内へ入れる
▷家庭ごみは、ごみ収集日の朝に指定場所に出す
▷マンションの廊下などに雑品を放置しない

		平成24年	平成23年	
火災	火災件数	151件	192件	
	主な原因	放火(疑い含む)	57件	43件
		たばこ	18件	27件
		こんろ	21件	24件
	主な用途	住宅、併用・共同住宅	63件	76件
		工場	13件	23件
		その他の建物	37件	45件
		車両火災	15件	14件
	死傷者	林野火災	0件	2件
		死者	7人	8人
	負傷者	22人	35人	
救急	救急件数	29,059件	27,717件	
	主な種別	急病	18,966件	17,776件
		一般負傷()	3,941件	3,723件
		交通事故	3,228件	3,385件
		その他	2,924件	2,833件
	年齢区分	搬送人数	24,769人	23,933人
		0~6歳	1,432人	1,507人
7~17歳		1,092人	1,127人	
	18~64歳	9,965人	9,745人	
	65歳以上	12,280人	11,554人	

自宅や屋外における転倒やげがのこと。

このほど、昨年の火災・救急概況が表のとおりまとまりました。前年と比較すると、火災件数が大幅に減少しましたが、急増しており、過去最多だった。救急件数は2万9059件と増加しています。また、救急件数は2万9059件と増加しています。59件で前年より1342件増加しており、過去最多だった。前年の件数を更新しました。

平成24年中の火災・救急概況(速報)

救急車の出動件数は過去最多

適正な利用をお願いします

近年、全国的に救急車の出動件数・搬送人員数はともに増加し、救急隊が現場に到着する時間も遅くなっています。

東大阪市では、救急車が1日平均79・6回、18分に1回出動しており、昨年の出動件数は2万9059件と過去最多となりました。

急病や交通事故など医師の治療を受けなければ生命に危険が及ぶ傷病者を、救急車は24時間いつでも安全に医療機関などへ搬送します。

しかし、緊急事態に誰も



救急相談への対応や救急病院の案内をする医師・看護師・相談員ら



1秒に救われる、命があります。

救急車を呼ぶかどうか迷ったら「#7119」へ

24時間 365日対応

救急安心センターおおさか

医師や看護師などが24時間365日救急相談に応じる、救急安心センターおおさか。市民の安心・安全の確保を担うため消防機関と医療機関が連携し、救急相談サービスを提供を推進することを目指して開始した当事業は、平成24年の1年間で24万2500件の着信があり、それぞれのニーズに合わせた対応をしています。

どのようなときに電話したらいいの？

救急車を呼んだ方がいいの？

救急手当の方法がわからない！

病院に行った方がいいの？

など、幅広く相談に応じ、家庭での処置をアドバイスしたり救急病院の案内（

ご利用ください

障害者専用リーフレット・点字カード

予防広報課、障害者支援室、福祉事務所、保健センターの窓口にて、障害のある方への専用リーフレットと点字カード（写真・名刺サイズ）を配置しています。くわしくは予防広報課までお問合せください。

06-6582-7119

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは#7119

ダイヤル回線の固定電話またはIP電話からは06(6582)7119

なお、奈良県との県境付近で、#7119にかけること、奈良県救急安心センターに電話がつながらない場合があります。

病院からの情報をもとに相談のあった時点で診察可能となつていない救急病院を紹介しています。ただし、急病患者の対応中など、診察を受けることができない場合もありますので、病院に行く前に必ず電話で確認してください。

問合せ先 予防広報課

外国人が安心して暮らせるまちへ

全救急車に外国人救急搬送シートを配備

消防局では、病気がけがの外国人を救急車で搬送する際に、症状などを尋ねる言葉が18か国語で流れる外国人救急搬送シートを市内の全救急車（13台）に配備しています。

市内には約1万7000人の外国人の方が住んでいます。外国籍の方の中には日本語が話せない人もいます。ことから、傷病者の情報を迅速に把握し、適切な医療機関へ搬送するために導入したものです。

外国人救急搬送シートは、音声再生ボタンで触れるだけで、英語をはじめ18か国語の救急現場に必要な質問9項目、症状に関する質問4項目、安心感を与える呼びかけ5項目（）に対応できます。

言葉がうまく伝わらないことは、不安を抱えた傷病者にとって大きなストレスとなることから、適切な救急隊の活動と傷病者への対応がこれまで課題となっていました。外国人救急搬送シートを活用することにより、傷病者と迅速な意思疎通、適正な観察・処置を行うことができます。また、母国語の言葉がかかることで安心感を与える活動が可能となります。

問合せ先 警備課



外国人救急搬送シート活用イメージ

①国旗の絵を患者に選んでもらう（音声も同時に流れる）

救急隊員が該当する国旗にペンで触れるとその国の言葉で対応できるよう設定される

②基本的な質問

日本語の質問にペンで触れると訳された音声が出る

③症状に関する質問

痛む部位や症状などを聴取



問合せ先 警備課

開設しました

応急手当WEB講習

応急手当を広く普及するため、消防局ウェブサイトに簡単に受講できる応急手当WEB講習サイトを開設しました。

この応急手当WEB講習は、救命に必要な応急手当を自宅のパソコンやスマートフォンを使ってeラーニングコンテンツで学習することができ、インターネットワークを利用した等価形式でいつでも学習することが可能です。

受講終了後に「受講証明書」が印刷できますので提出していただき、普通救命講習会での受講時間を1時間短縮することができます。

消防局ウェブサイトの「応急手当」講習（写真）または「eラーニング」講習（写真）または「www.hfd-119.jp/e-learning/」リンクから受講できます。

スマートフォンでの受講も可能です。

問合せ先 警備課



登録不要で誰でも簡単に受講できます

流出事故防止対策の経過措置期間

平成25年1月31日で終了

危険物施設に設置されている地下貯蔵タンクのうち、直接埋設された鋼製一重殻タンクで設置したときの許可申請書類に記載されている仕様に基づいて、腐食のおそれが高い地下貯蔵タンク、または「腐食タンク」の判定を行い、その結果に基づいて内面の腐食を防止するコーティングなどの措置を平成25年1月31日までに講ずることとされています。

関係事業所においては、流出事故を防ぐための前記措置を講じなければ、消防局が警告書や命令書の交付など適正な処理をします。ご注意ください。

問合せ先 予防広報課 東・中・西消防署 予防担当



消防トライくん

家族の命を守るため

住宅用火災警報器を全住宅に設置しましょう



救出活動を迅速に

災害時要援護者情報伝達システムを導入

自力での避難が困難な方は登録を

昨年8月1日から、消防局の高機能消防指令センターに、福祉部において本人が事前に同意登録されている介護や障害などの内容が記された災害時要援護者の情報を取り込み、火災、救助といった日常的に発生する災害に活用できるよう、災害時要援護者情報伝達システムを導入しました。

同システムを活用することにより、同指令センターから災害現場へ急行する救助隊や消防隊等へ、いち早く情報の伝達を行い、現場到着後の隊員が一刻も早く災害現場やその付近にお住まいで自力避難が困難な方の救出を迅速に行うことができます。

なお、災害時要援護者の登録については、福祉企画課へお問合せください。

問合せ先 情報伝達システムについて
通信指令室 072(966)9665、072(966)9669
災害時要援護者の登録制度について
福祉企画課 06(4309)3181、06(4309)3815



高機能消防指令システム・指令台

防災学習センター

リニューアルオープン



迫力のある3D映像が体感できます

この施設は、過去の災害を教訓に、また、近い将来発生すると予想される東南海地震・南海地震に備えて、防災の必要性・重要性を学び、体験できる施設です。

新たに、地震体験コーナーと3Dシアターの映像展示パネルなどを更新しています。

楽しく学んで、災害に対する知識や心構えを身につけましょう。

問合せ先 予防広報課

消防局が受付窓口

保安3法にかかる事務権限移譲

大阪府産業保安行政事務にかかる事務処理の特例に関する条例に基づき、「火薬類取締法」「高圧ガス保安法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の保安3法にかかる申請および届出の事務が昨年10月1日に府から本市に権限移譲されました。現在

は、予防広報課保安規制担当（稲葉119消防局5階）が受付窓口となっております。

なお、申請手数料については、現金での納付となり、従前の大阪府証紙による納付はできませんので、ご注意ください。

消防局では、火薬類、高圧ガスおよび液化石油

問合せ先 予防広報課保安規制担当 072(966)9666、072(966)9669



④花火大会での火薬類の消費など
⑤高圧ガスの製造、貯蔵など

東大阪市消防局連絡先一覧

- 東大阪市消防局 稲葉1 9)
総務部総務課.....072 966 9660
総務部人事教養課.....072 966 9661
警防部予防広報課.....072 966 9662~3
警防部警備課.....072 966 9664
警防部通信指令室.....072 966 9665
防災学習センター.....072 966 9998
東消防署(鳥居町3 3).....072 983 0119
中消防署(稲葉1 9).....072 966 0119
西消防署(御厨栄町3 1 41).....06(6788) 0119

もしものときの問合せ先

- 病気やけがで迷ったとき、診察してくれる救急病院を教えてください
救急安心センターおおさか
#7119(携帯電話・固定電話)
大阪府救急医療情報センター
夜間の子どもの急病時、病院に行ったほうがいいのか迷ってしまう...
小児救急電話相談 大阪府保健医療室

化学物質、医薬品、動植物の毒などによる急性中毒事故が起きたときは...

- 中毒110番
日本中毒情報センター
たばこを誤って飲んでしまったときは...
たばこ専用電話
東大阪市消防局ウェブサイト

東大阪市消防局ウェブサイト

東大阪市消防局の最新情報を随時掲載しています。

東大阪市消防局 検索

東大阪市消防局災害案内

市内で発生している火災の情報を機械音声で案内しています。

東大阪市消防局携帯電話用災害速報

市内で発生している火災や前日までの火災、救急件数を消防局ウェブサイトでご覧いただけます。



このほど、東大阪市消防局マスコットキャラクター「消防トライくん」が誕生しました。1月13日に開催された消防出初式が初の任務となり、全国消防イメージキャラクターの「消太(写真中)と日新高校の「ひにアラタ(写真左)とともに無事に大役を果たしました。

消防局マスコットキャラクター “消防トライくん”誕生



しらゆき保育園幼年消防クラブ員のみならず記念撮影



火気の取扱いに気をつけよう!

林野火災特別警戒実施中

この時期は、山では枯葉や枯草が多いことや空気が乾燥していることから、山火事が発生する危険性が高まります。そこで、山火事予防意識の啓発を図るとともに、警戒対策を強化し山林などの保全と地域の安全を目的に、消防局では2月1日(金)から5月6日(祝)までを林野火災特別警戒期間と

林野火災を想定した訓練実施
林野火災に処するた
問合せ先 警備課

春の全国火災予防運動に伴う消防訓練を実施

3月1日(金)から7日(木)までの間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。
消防訓練を実施
問合せ先 西消防署



春の全国火災予防運動に伴う消防訓練を実施
3月1日(金)から7日(木)までの間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。
消防訓練を実施
問合せ先 西消防署

学びませんか 防火管理者講習会・救命講習会

防火管理者講習会

防火管理者講習会 講習日と申込期間の表

いずれも午前10時～午後4時50分(2日目は午後4時40分まで)で計2日間、2日間とも受講しなければ、修了証は交付できません。定員各90人

救命講習会(一般公募による救命講習会)

救命講習会 講習日時と講習会種別の表

内容
応急手当の必要性
人工呼吸と胸骨圧迫の方法(心肺蘇生法)
AED(自動体外式除細動器)の使用法
止血法
救命入門コース(1時間30分)は10歳以上の方が対象です。小学生は保護者といっしょに受講してください。

申込み・問合せ先 救命講習受付 072(966)0799
受付時間は午前9時～午後5時30分(月曜日は月曜日が祝日の場合は翌日、12月30日～翌年1月4日を除く)
受付時間以外の時間帯は、各消防署の救急担当へお問合せください。